

八丈島特産園芸作物における生産振興技術対策

【研究概要】

八丈町農業生産額を維持・拡大するため、特産園芸作物における生産振興技術対策の試験を行った。

- (1) ルスカスのハウス栽培における近紫外線除去フィルムの効果を確認した。近紫外線除去フィルムは除去機能の無いフィルムと比べて、こうじかび病と葉先枯病の発症を抑制した。ハウス内温度と新茎発生数に大きな差は無かった。
- (2) 転炉スラグがアシタバの生育に与える影響を調査した結果、転炉スラグを混合した培養土で生育したアシタバは、微量要素障害は見られず、収量は苦土石灰を混合した培養土や無調整の畑土よりも収量が低い傾向であった。
- (3) 樹上完熟「菊池レモン」の施設栽培において、通年多かん水を行う場合と同等な効果がある多かん水時期は、果実の肥大を良くし、果皮の硬度を低くする点からは開花期（3～5月）が望ましいと推定された。
- (4) アシタバの黒枯病に対する既知化合物 SB-390WG 水和剤の 2,000 倍希釈液散布は、中発生条件下において防除価 54.1 と対照薬剤と同等の効果を示し、実用性が認められる。薬害は発生しなかった。